

秋谷アカデミーに入塾したのは高校2年3月です。入塾後は6月の英検に向けて、英検に合格してから受験対策の指導を行っていたいただきました。受験に向けて語彙を確かめるのにするために単語をもう一度行い、文法では先生の解説を受けて1週間ごとに宿題が出ました。時間があまりなく急ピッチで終わらせましたが、あやふやになつていり所の質問をすると丁寧に答えていただいたためとても身についたと感じました。私はこれまで質問事項をうまく伝えられなかったため、回答の論点がずれていることが多く、質問するのが億劫になつていましたが、先生はその意図を汲み取って正確かつ丁寧に回答してくださったおかげで、質問が積極的にできるよくなりました。

長文読解では時間内に読み終わらないというのが課題でした。先生はどの読み方、記号のつけ方か自分に合っているか様々な提案をしてくださり、最終的に自分が読みやすい方

法を見つけることができたため、文章自体の理解もしやすくなったと考えています。それから読むのが遅くなったという一番の原因が、文を1回で理解出来ずに返り読みが多くなった時間がかかっていたことでした。返り読みを減らすために一文ずつ和訳をして先生に修正してもらう精読を行いました。この精読を繰り返すことで1000 words 超の長文でも全体の趣旨の理解ができるようになりました。また、そのおかげでテンポがつかめてきて、修飾語に意識がとられて肝心のSVOCを見落とすことが減りました。授業を繰り返していったうちに読む速度が上がり、9月時点で早稲田の1つの長文に60分かかっていたのが4か月で30分短縮できました。

結果的に5月の河合塾全統模試から10月のその模試では偏差値が52から62まで上がり、速読かつ正確な読解が必要な共通テストのリーディングでは5月時点より6割だったのが本番では9割を取ることができました。

私は英語の偏差値が52で苦手意識があった頃、私大受験は英語をいっだけ得点できるか合格否の分かれ目と色々な人に言われ、こんな成績で本当に合格できるのだろうかと毎日とても不安でした。秋合で短期間のうちにここまで成績を上げて、英語に自信が付き、滑り止めのMARCHの受験本番では国語の失敗を英語でカバーすることが出来るまでに成長しました。また、早稲田でも英語で十分に得点することができました。英語の苦手を克服しなければこの早稲田法学部の合格は難しかったと思います。

加えて、直前期(共通テスト後)は1週間ほどで1割英語の得点が上がっていました。卷では短期間で英語は伸びづらい、直前期にはったらもう手遅れと言われることもありますが、最後の最後まで伸びます。最後まであきらめないでください。